

分野：②生態系・生物多様性

おおたかの森で虫元気をつくろう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 風の森狭山台みどり幼稚園年少ちゅーりっぷ組（20人）

所要時間 90分

場所 おおたかの森の再生地

実施時期

令和2年10月6日

概要

森の再生地でトンボやバッタ、チョウやハチなどの観察
外来植物を一つだけ見つける
池の生き物を探す
キノコのホダ木の重さを体験する

プログラムの
ねらい

傷ついた自然を再生するためには、お友達と力を合わせ楽しく、怪我のないように注意をする。
生きもののつながりと大切さを分かり、ハチなどの危険な生きものとの対処の仕方を学ぶ。

プログラムの内容

1 トンボやバッタ、チョウやハチ、水辺でメダカやアメンボウの観察（20分）

原っぱでバッタを探していると、トンボやチョウが飛んできます。カナヘビを探しているとアリの行列に出会いました。

2 外来植物探し（10分）

トンボを追いかけて背の高いオオブタクサを見つけました。

3 春に駒打ちしたキノコのホダ木が重いことを体験（40分）

春に駒打ちしたキノコのホダ木からキノコから顔を出してくれるためには暗いところに移します。重いホダ木を置き場まで友達と協力して移動しました。

4 メダカとトンボの抜け殻探し（10分）

池の橋を渡っている時にメダカとトンボの抜け殻を見つけました。

受講者の反応

水辺の一本橋は冷や冷やしながらも渡ることができました。山の上ではたくさんの松ぼっくりを見つけて大喜びをしながら、高いところに付いている松ぼっくりが取れた時は大喜びでした。初めての体験ができ楽しい一日でした。これからもよろしく願いいたします。

環境学習の様子（写真）

